

レジメン名

CBDCA+PTX

出典

J Clin Oncol. 2011;29(15):2060-5.
WJOG4207L. Ann Oncol. 2015;26(2):363-8.

実施部署区分

☒入院☐外来☐処置

対象疾患

胸腺癌

☒進行・再発

☐補助療法(術前・術後)

☐

☐

原則PS0-1を対象とする

投与減量の基準

その他			

投与中止の基準

WBC	2000/mm ³ 未満	PLT	5万/mm ³ 未満
ANC	1000/mm ³ 未満	Hb	8.0g/dL未満
AST,ALT	200IU/L以上	T-bil	3.0mg/dL以上
その他			

出典には中止基準設けられていないため、Grade3以上の有害事象である上記の値で登録とした。

1クール期間

21日

総クール数

4-8クール

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1、d8等)
パクリタキセル	200mg/m2	輸液500mL	3時間	d1
カルボプラチン	AUC4-6(GFR+25) [※]	5%糖液250mL	60-90分	d1
※出典ではAUC6だが、医師と協議の上、上記とした。				
※カルボプラチンの投与量計算に用いるGFRはCockcroft-GaultとeGFR×BSA/(1.73×0.715)のうち低い値を採用。安定性の観点から、カルボプラチンの希釈液は5%TZを基本とする。				

1日投与順
(経時的にプレデニゾン・ポストメデニゾン、溶解液まで含む)

day1
①グラニセトン3mgハック+デキサート16.5mg+ホラムミン5mg+ファモチジン20mg(30min)
②パクリタキセル200mg/m2+輸液500mL(3hr)
DEHPフリーのインラインフィルターを用いて投与
③CBDCA+5%糖液250mL(60-90min)
④生食50mL(フラッシュ用)